

研究テーマ

「短時間グループ・アプローチの習得と活用～学びのアクティブ・ラーニング化～」

スーパーバイザー：名城大学 曾山 和彦 教授

1 はじめに

本校は鳥取県東部に位置する生徒数600人を超える県内でも有数の大規模校である。校区には4つの小学校があり、児童・生徒の身につけたい力を具体的に設定し、小中が連携した取組みを進めている。しかし、それぞれの校区ごとに多様な地域性や家庭環境の差、さらに小学校の規模の相違もあり、中学入学後に人間関係においてトラブルが生じるケースがある。そこで良好な人間関係と質の高い学級集団づくりを促進するため、短時間グループ・アプローチ（以下GA）の手法を活用することとした。また、この手法を導入することにより学校づくり、学級づくり、集団づくりさらにはアクティブ・ラーナーの育成を視野に入れた学習における転用を図っていきたいと考える。

2 研究のねらい

生徒がGAを習熟することにより、

- ①話の仕方（～です。）や話の聴き方（うなずき、視線、表情等）のマナーやルールを体得させることで、自他を尊重する態度の育成とともに学習規律の向上を図る。（学習・コミュニケーションスキルの定着と活用）
- ②活動を通して自己理解や自尊感情を高め、良好な人間関係と質の高い学級集団を育成する。（学校づくり、学級づくり、集団づくりのスキルの定着と活用）

3 研究内容

（1）導入

- ①GAの授業研究会（全学級）・事後研修会に曾山和彦教授を招聘し、全教職員で研修する。
愛知県春日井市立西山小学校 殿塚卓教諭とのGA実践における情報交換を行う。
- ②第1回中学校区小中連携振興会全体研修会（中学校授業公開）でGAの実践公開を行う。

（2）活用（実践）

- ③第2回中学校区小中連携振興会全体研修会（8月）に曾山和彦教授を招聘し、全教職員で研修する。
- ④中学校区の複数の教職員を県外視察に派遣する。曾山和彦教授の紹介で、GAを導入して学校づくりを推進している先進校を視察する。
- ⑤GAの授業研究会（全学級）・事後研修会に曾山和彦教授を招聘し、全教職員で研修する。
愛知県春日井市立西山小学校 殿塚卓教諭とのGA実践における情報交換を行う。

（3）展開

- ⑥県外研修内容について第3回中学校区小中連携振興会全体研修会の場で伝達研修を行う。
- ⑦中学校の教職員による校区小学校へのGAの出前授業を行い、GAの取り組みの実践を校区に広げる。

4 スーパーバイザーによる研修

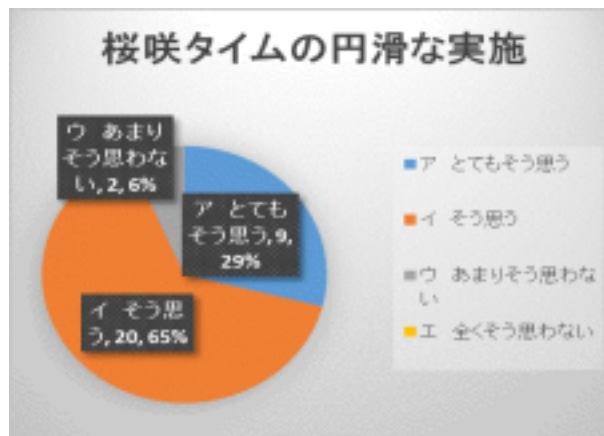
平成28年 6月	GAの授業公開と指導助言・理論と先進校の実践
平成28年 8月	講演「教室でできる『関係づくり』の具体方策」（GAの理論と実践）
平成28年 9・11月	曾山和彦教授の紹介で先進校視察を行う。
平成29年 1月	GAの授業公開と指導助言・Q&A（職員アンケートより） 来年度に向けての示唆

5 研究のまとめ

(1) 成果

① GA（桜咲タイム）の浸透と定着

中学校は週に1回、定期的実施することにより、グループでの話し合いのルールや発言しやすい雰囲気が定着しつつある。職員のアンケートでも「生徒は桜咲タイムのねらいを意識し、ルールを習得して円滑な実施ができていますか。」の問いに対し、94%の職員から肯定的な評価が得られた。



<GAの感想より>

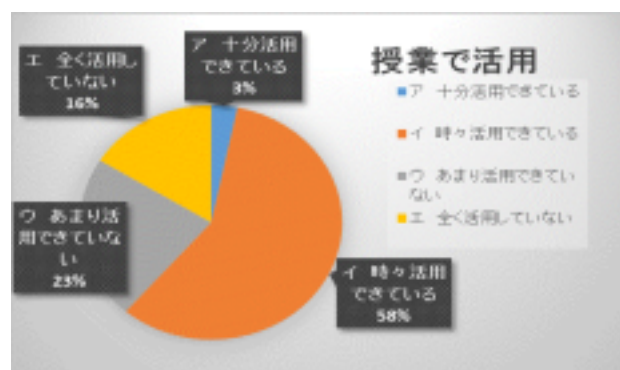
◇よくうなずいたり、正しい言葉づかいができたりしていた。Aくんが、よく話を進めていて良かった。次はもう少し声を大きくしたい。

◇「～です、～ます」などきちんとした言葉を使うことができました。うなずいて聞くこともできたり、あいさつもはっきりとできました。次の課題は、もっと相手の話を聞こうという気持ちを大切にしたいです。



② GAの転用（学習面・生活面）

GAのねらいは汎用性が高く、生活面だけに留まらず学習への転用も図ることができる。そのため6割の職員が授業の話し合いの場面等でGAのグループの形態やルールを活用している実態が見られた。中には、学級活動や道徳の時間、委員会活動でも話し合いのルールを実践している事例があった。



<生徒の授業の感想より>

- ◇桜咲タイムの班で話し合うのは、少人数なので質問がしやすく良かった。
- ◇グループになると他の人の意見も聞けて、自分が考えを書くときに参考になる。
- ◇グループの友達と相談したり、考えたりすると頭にはいる。
- ◇班の人が教えてくれたり、相談してわかったりするから良かった。
- ◇桜咲タイムの班活動は、他の人の意見を聞くことで新しい考えが生まれるからいい。
- ◇自分がわからないところなどをみんなの意見をきいて、考えることができるのでいい。

第19回 桜咲タイム (SST)

12月14日(水)

アドジャン

ねらい：友達の顔を見て話せる、聴ける。
今日のポイント☆ 視線を意識させてください。

※今回は3年生だけ、質問を変えています。

流 れ	○指導内容 ・留意点	めやす
※ 机は前を向けたまま。 机の上は何も出さない。		
1 ルール確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ◇ お願いします。& ありがとうございました ◇ うなずいて聴く ◇ 指示をしっかりと聴く </div>	○ ルールを示したボードを使って、読み上げ、確認する。 ・確認後は黒板の真ん中にはって下さい。	30秒
2 活動内容の説明 ※ 机を班にする ・音を立てず、机を移動。 ・隙間なく机をくっつける。 ・欠席者の机も忘れずに！	○アドジャンのやり方の確認。	30秒 1分
3 活動 (1) 順番決め (2) あいさつ 「〇〇です。よろしくお願いします。」	○ 出席番号でもジャンケンでもいろいろアレンジしてみてください。 ・あいさつの後、短い拍手をさせる。	30秒 30秒
(3) アドジャンスタート (4) フリートーク (5) あいさつ (班ごと一斉に) 「ありがとうございました」	※ 消極的な班への支援をお願いします。 ・時間になれば止めてください。	90秒 90秒
※ 机を元に戻す。(前向き) 筆記用具を出させる。		1分
4 振り返り	○振り返り用紙の配布 ・時間をみて数人感想を発表させて下さい。	3分

③ 9カ年を見通した小中連携

名城大学曾山和彦教授を招聘し合同研修を行ったり、先進校視察の報告を伝達研修会で共有したり、GAの取組（理論や実践）について小中全職員が共通理解を図ることができた。今後小中9カ年を見通す一貫した取組の一つとしてGAを位置づけ、連携した取組を行うにあたって有意義な合同研修会となった。

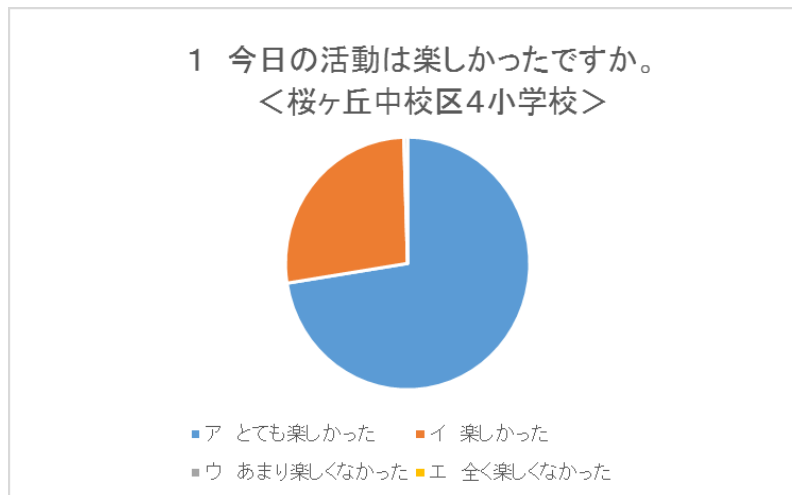


④ GAの出前授業の実施

校区小学校へのGAの出前授業を実施したことにより、小学6年生の不安解消や期待感を高める一助となり、中学校入学後のGA浸透・定着に有効であった。また、職員には小学校におけるGAの授業実践のイメージを持ってもらうよい機会となった。

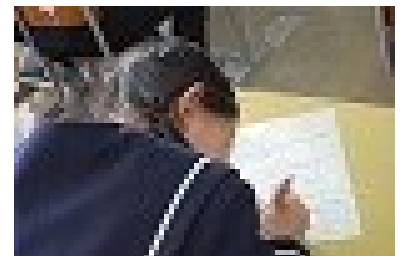
<GAの出前授業の感想より（校区小学校6年生）>

- ◇「桜咲タイム」は、中学校に入ってすぐいろいろな友達と仲良くできるいいチャンスだと思った。
- ◇中学校は小学校と違って厳しいイメージだったけど「桜咲タイム（GAの名称）」のような楽しい時間があると知って、中学校生活が楽しみになりました。
- ◇みんなで話すのが楽しかった。中学校に行くのが楽しみになった。
- ◇「桜咲タイム」を通して、もちろん楽しかったしもっと仲が深まったのではないかと思います。中学校に入学して、新しいクラスメイトとやるのが楽しみになりました。



(2) 課題

今年度はGAの浸透と定着をねらいとしたため、学校生活全般（学習面、生活面）にわたって、十分に成果が上がっているとは言えない。次年度はGAで取り組んだ成果を授業に積極的に取り入れ、アクティブ・ラーナーの育成につながる組織的な授業改善を図っていききたい。



6 おわりに

今後は各小学校区においてもGAを実施し、小中9カ年間を見通した取組を実施することにより、一貫した社会性の育成とともに、主体的自発的な深い学びを実現するための学習方法として位置づけ、継続した教育効果を図りたい。